



平成26年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年4月25日

上場取引所 東

上場会社名 東亜合成株式会社

コード番号 4045 URL <http://www.toagosei.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 橋本 太

問合せ先責任者 (役職名) IR広報室長

(氏名) 鈴木 義隆

TEL 03-3597-7215

四半期報告書提出予定日 平成26年5月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第1四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	37,433	6.2	3,348	△5.4	3,372	△10.2	2,104	△14.9
25年12月期第1四半期	35,247	△4.0	3,541	5.4	3,756	9.2	2,473	12.4

(注) 包括利益 26年12月期第1四半期 1,496百万円 (△70.0%) 25年12月期第1四半期 4,993百万円 (35.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第1四半期	7.99	—
25年12月期第1四半期	9.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第1四半期	194,584	148,165	73.9
25年12月期	193,086	148,148	74.4

(参考) 自己資本 26年12月期第1四半期 143,856百万円 25年12月期 143,721百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	5.00	—	5.00	10.00
26年12月期	—	—	—	—	—
26年12月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	75,000	1.8	7,200	△2.9	7,500	△5.9	4,800	△6.2	18.22
通期	154,000	1.9	15,000	3.4	15,500	1.0	10,000	4.1	37.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年12月期1Q	263,992,598 株	25年12月期	263,992,598 株
② 期末自己株式数	26年12月期1Q	514,872 株	25年12月期	501,584 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年12月期1Q	263,483,780 株	25年12月期1Q	263,618,226 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想には、本資料の発表日現在入手可能な情報に基づく予測が含まれております。実際の業績は、今後さまざまな変動要因により、上記数値と異なる可能性があります。上記業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

(ア) 当第1四半期連結累計期間の概況

当第1四半期連結累計期間（平成26年1月1日から平成26年3月31日まで）における当社グループの業績は、売上高は374億3千3百万円（前年同期比6.2%増収）、営業利益は33億4千8百万円（前年同期比5.4%減益）、経常利益は33億7千2百万円（前年同期比10.2%減益）、四半期純利益は21億4百万円（前年同期比14.9%減益）となりました。

(イ) セグメント別の業績

①基礎化学品事業

苛性ソーダおよび無機塩化物は、全般的な需要の低迷を受けて販売数量が減少し、低調に推移しました。無機高純度品は、主力の半導体向け需要が回復基調にあり、堅調に推移しました。硫酸および工業用ガスは、全般的に需要が回復傾向にあり、前年同期並みで推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は108億8千3百万円（前年同期比2.3%減収）となりました。

営業利益は、電力をはじめとする原燃料価格の大幅な上昇に対し、需給のアンバランスにより製品価格の是正ができず、収益が大きく圧迫された結果、5億2千万円（前年同期比47.4%減益）となりました。

②アクリル製品事業

アクリル酸およびアクリル酸エステル、ならびにアクリル系ポリマーは、国内向けを中心に底堅い需要に支えられ、堅調に推移しました。高分子凝集剤は、製品市況が回復傾向にあり、前年同期並みで推移しました。光硬化型樹脂は、全般的な需要の低迷を受けて販売数量が減少し、低調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は146億5千2百万円（前年同期比10.9%増収）となりました。

営業利益は、原燃料価格の上昇に対応した製品価格の是正ができず、収益は圧迫され、13億6千1百万円（前年同期比12.2%減益）となりました。

③機能製品事業

接着剤は、一般用瞬間接着剤の販売数量が増加したとともに、工業用も携帯端末向けを中心とした機能性接着剤の需要が伸長し、好調に推移しました。建築・土木製品は、建築補修材の需要が堅調だったものの、地盤改良剤の需要が落ち込み、前年同期並みで推移しました。無機機能材料は、銀系無機抗菌剤の販売数量が減少し、低調に推移しました。エレクトロニクス材料は、全般的に販売数量が低迷し、低調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は41億5百万円（前年同期比9.6%増収）となりました。

営業利益は、一般用瞬間接着剤および機能性接着剤の販売数量が増加したことにより、8億8千7百万円（前年同期比67.0%増益）となりました。

④樹脂加工製品事業

管工機材製品は、消費増税前需要や復興需要等の影響もあり、全般的に販売数量が増加し、好調に推移しました。ライフサポート製品は、日用品分野の不採算品見直しにより、販売数量が減少し、低調に推移しました。エラストマーコンパウンドは、全般的に需要が底堅く、前年同期並みで推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は69億7千万円（前年同期比10.4%増収）となりました。

営業利益は、管工機材製品の販売数量が好調に推移したことにより、5億5千9百万円（前年同期比45.8%増益）となりました。

⑤その他の事業

新規製品の研究開発事業、設備等の建設および修繕事業、輸送事業、商社事業などにより構成される当セグメントは、売上高は8億2千1百万円（前年同期比0.8%減収）、営業損失は5百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債および純資産の状況

総資産合計は、設備投資により有形固定資産などが増加しましたため、前連結会計年度末に比べ14億9千8百万円、0.8%増加し、1,945億8千4百万円となりました。

負債合計は、「支払手形及び買掛金」などが増加しましたため、前連結会計年度末に比べ14億8千1百万円、3.3%増加し、464億1千9百万円となりました。

純資産合計は、四半期純利益の計上により「利益剰余金」が増加しましたため、前連結会計年度末に比べ1千6百万円増加し、1,481億6千5百万円となり、自己資本比率は73.9%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、電力、ナフサをはじめとする原燃料価格の上昇、高止まりにより収益が圧迫される状況が続くものと予想されます。このような中、当社グループは、原燃料価格の上昇に対応した製品価格の是正を加速させるとともに、引き続き高付加価値製品の拡販、コスト削減に努め、収益を確保してまいります。

平成26年12月期の業績予想につきましては、平成26年2月6日に公表した予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,029	16,183
受取手形及び売掛金	43,028	41,830
有価証券	23,000	23,000
たな卸資産	15,795	17,110
繰延税金資産	1,411	1,311
未収還付法人税等	194	188
その他	1,385	1,272
貸倒引当金	△70	△71
流動資産合計	101,774	100,824
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	19,982	19,827
機械装置及び運搬具（純額）	18,091	17,440
土地	17,801	17,802
その他（純額）	10,025	13,185
有形固定資産合計	65,901	68,255
無形固定資産		
のれん	28	26
その他	786	743
無形固定資産合計	815	770
投資その他の資産		
投資有価証券	19,092	19,213
その他	5,572	5,591
貸倒引当金	△70	△70
投資その他の資産合計	24,595	24,734
固定資産合計	91,311	93,760
資産合計	193,086	194,584

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,735	17,687
短期借入金	7,238	7,108
未払法人税等	2,269	840
引当金	19	562
その他	9,064	9,347
流動負債合計	34,327	35,545
固定負債		
長期借入金	5,861	6,254
退職給付引当金	313	309
役員退職慰労引当金	20	20
その他	4,415	4,289
固定負債合計	10,610	10,873
負債合計	44,938	46,419
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,886	20,886
資本剰余金	16,798	16,798
利益剰余金	100,790	101,577
自己株式	△178	△184
株主資本合計	138,296	139,077
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,424	4,054
為替換算調整勘定	1,000	724
その他の包括利益累計額合計	5,425	4,778
少数株主持分	4,426	4,308
純資産合計	148,148	148,165
負債純資産合計	193,086	194,584

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
売上高	35,247	37,433
売上原価	25,695	28,148
売上総利益	9,551	9,284
販売費及び一般管理費	6,010	5,936
営業利益	3,541	3,348
営業外収益		
受取利息	9	8
受取配当金	26	25
持分法による投資利益	77	76
為替差益	76	—
固定資産賃貸料	42	42
その他	118	54
営業外収益合計	350	207
営業外費用		
支払利息	35	30
為替差損	—	23
遊休設備費	31	35
環境整備費	21	20
その他	48	75
営業外費用合計	135	183
経常利益	3,756	3,372
特別利益		
補助金収入	216	—
特別利益合計	216	—
特別損失		
固定資産処分損	25	19
特別損失合計	25	19
税金等調整前四半期純利益	3,947	3,352
法人税等	1,414	1,171
少数株主損益調整前四半期純利益	2,532	2,181
少数株主利益	59	77
四半期純利益	2,473	2,104

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,532	2,181
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,743	△371
為替換算調整勘定	716	△313
その他の包括利益合計	2,460	△685
四半期包括利益	4,993	1,496
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,879	1,457
少数株主に係る四半期包括利益	113	38

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	基礎化学 品事業	アクリル 製品事業	機能製品 事業	樹脂加工 製品事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	11,141	13,217	3,744	6,315	34,418	828	35,247	—	35,247
セグメント間の内部 売上高または振替高	2	35	126	1	166	1,859	2,025	△ 2,025	—
計	11,144	13,253	3,871	6,316	34,585	2,687	37,273	△ 2,025	35,247
セグメント利益または セグメント損失(△)	988	1,550	531	384	3,454	68	3,523	17	3,541

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規製品の研究開発事業、設備等の建設および修繕事業、輸送事業、商社事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	基礎化学 品事業	アクリル 製品事業	機能製品 事業	樹脂加工 製品事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	10,883	14,652	4,105	6,970	36,611	821	37,433	—	37,433
セグメント間の内部 売上高または振替高	8	28	122	3	163	1,844	2,007	△ 2,007	—
計	10,891	14,680	4,228	6,974	36,775	2,666	39,441	△ 2,007	37,433
セグメント利益または セグメント損失(△)	520	1,361	887	559	3,329	△ 5	3,323	24	3,348

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規製品の研究開発事業、設備等の建設および修繕事業、輸送事業、商社事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。